

第 1 回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

1. 開催日時 令和 3 年 6 月 30 日（水）午後 3 時 0 0 分～午後 3 時 4 5 分
2. 開催場所 Web 会議
3. 出席者 委員 5 名（石原委員長、入江副委員長、酒井委員、塩津委員、高津委員）
豊橋市 6 名（稲田総務部長、前田行政課長、坂上行政課課長補佐、
渡部行政課課長補佐、鈴木行政課主査、土屋行政課担当）
4. 会議概要 以下のとおり

発言者	要 旨
事務局 (行政課課長補佐)	定刻となりましたので、ただ今から、第 1 回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。 事務局を代表し、総務部長よりご挨拶を申し上げます。
総務部長	お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。本日はどうぞよろしく申し上げます。 委員の皆様には、日ごろから行財政改革プランの推進について、ご意見をいただき感謝申し上げます。とりわけ、昨年度は新プランの策定にあたり、多くのご助言をいただきました。あらためて御礼申し上げます。
事務局 (行政課課長補佐)	議事進行は、石原俊彦委員長にお願いしたいと思います。 石原委員長、お願いいたします。
石原委員長	どうぞよろしく申し上げます。 今回は、行財政改革プラン 2016 の事務局の総括案と、昨年度策定した行財政改革プラン 2021-2025 の内容について説明してもらいます。 それではまず、行財政改革プラン 2016 総括報告書(案)について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (行政課課長補佐)	≪資料 1 行財政改革プラン 2016 総括報告書(案)を説明≫
石原委員長	ありがとうございました。 次に次第 3 の意見交換です。ここからは皆様との自由な意見交換としたいと思います。

発言者	要 旨
高津委員	<p>評価が高い施策が多く、5年間の結果が見て取れます。一方、「△」評価となっている施策もあるので、それらの原因について議論をすることが必要だと思います。</p>
石原委員長	<p>新型コロナウイルス感染症の影響がある中、幼保一元化や学校の統廃合など、効率性に重点を置いた改革をしなければいけないと考えます。一方、改革のスピードを緩め、子供達へのケアをするというバランス感覚を持った運営も行財政改革を進める上では重要だと考えます。</p> <p>豊橋市で独自に取り組んでいる教育の取組はありますか。</p>
総務部長	<p>授業後の学びの場として「のびるん de スクール」を開設し、公立の小学校に子どもの居場所を集約しようとしています。</p>
入江副委員長	<p>教育の観点では、豊橋市には外国人児童がたくさんいますが、今後きめ細やかに対策し、次の5年間を見据えて取り組んでほしいです。</p> <p>また、報告書については、プランの目的に照らして言及した方がいいと思います。</p> <p>重点指標の数値については、経常収支比率は、コロナの影響があったとはいえ、もう少し目標に近づいた方がいいと思います。業務改善実施数については、件数だけでなく、改善の中身も重要です。今後の5年間はそこに注意しながら進めてほしいです。まちづくり活動への参加率については、飛躍的に上がっていて好ましく感じました。今後、継続的に参加している市民の割合と参加者の満足度を上げ、市民が主導的に活動を始められるように取組を進めていってほしいです。</p>
塩瀬委員	<p>重大な事故の報道発表件数が多いと感じます。事故がどのようなものだったのか、具体的な内容を教えてください。</p>
事務局 (行政課担当)	<p>事故の概要は、保育料の誤請求、定額給付金の振込誤り、学校の物品の購入における不適切な経理等です。</p>
酒井委員	<p>報告書は、読み手側にとって若干わかりづらい部分があります。例えば、まちづくり活動への参加率が令和2年度に急激に上がった理由を教えてください。</p>
事務局 (行政課担当)	<p>まちづくり活動については、アンケートをとる際に、回答者が設問を理解しやすいように具体的な取組を設問に例示したところ回答が良い方向に増えた結果です。</p>

発言者	要 旨
石原委員長	<p>報告書の作成にあたっては、行政の用語になじみのない市民を対象としていることを心がけるべきだと思います。読みやすいように報告書を作るのも一つの改革です。せっかく報告書を作っても、市民の方に読んでもらえないなら、作った意味がなくなります。</p> <p>次に、次第4 行財政改革プラン 2021-2025 についてです。昨年度策定をした新たなプランについて、事務局より説明をしてください。</p>
事務局 (行政課課長補佐)	<p>《資料2 行財政改革プラン 2021-2025 を説明》</p>
高津委員	<p>プラン全体として、財政調整基金の残高がポイントになると思いますが、一定額以上というのはどのくらいなのでしょう。</p>
行政課長	<p>一般的に、地方自治体の標準財政規模の10パーセントが適当だと言われていています。</p>
事務局 (行政課課長補佐)	<p>活発な議論ありがとうございました。</p> <p>次回は委員の皆様からいただいた、ご意見をもとに外部評価のとりまとめをいただければと思います。</p> <p>7月28日水曜日午後3時00分などご予定はいかがでしょうか。</p> <p>開催方法はZ o o mを予定しています。</p>
石原委員長	<p>それで、7月28日水曜日午後3時00分からということですのでよろしくお願いいたします。本日はお疲れ様でした。</p>